



2023

9月

第221号

令和5年9月5日  
発行

西海市社協だより

Saikai City of Welfare with Scrum



海の生き物にくぎづけ

大島学童保育

佐賀県立宇宙科学館でのひとコマ



西海市社会福祉協議会

# 9月1日は「防災の日」

## 備えよう！非常持出袋と防災意識

### ●防災の日

9月1日は防災の日。皆さん、日頃からの災害への備えは大丈夫でしょうか。今回は、2ページにわたる災害に関する日頃からの備えや社協職員の災害派遣報告、地域での助け合いなどを紹介します。

### ●いつでも起こり得る大雨等による災害

近年、必ずといっていいほど起こっている大雨災害。(台風による被害も含む)

今年7月には、梅雨前線や線状降水帯が原因で多くの被害をもたらした九州北部豪雨が記憶に新しく、全国的にも大雨が猛威を振るいました。

雨も長時間降り続くものや、短時間に猛烈な勢いで降るものまであり、被害は場所によって土砂崩れや浸水被害など様々で、いつどこで災害が起きてもおおしくありません。

### ●日頃の備えがあなたと大切な人を救う

災害が発生した時には、日頃の備え、予備知識と備蓄品が、あなたとあなたの大切な人を守るためにもとても重要です。非常持出袋の準備や、家族で確認しておくことをチェックしておきましょう。

家族の避難場所はどこか、学校にいるとき、会社にいるときなど、災害時のシミュレーションをして、それに合わせた準備が必要となります。防災意識を高め、さまざまな準備を進めていきましょう。

### 家族で確認しておくことの例

- 避難場所
- 避難場所への安全な避難ルート
- お互いの安否確認の方法
- 災害伝言ダイヤルの利用方法
- ハザードマップ
- かかりつけ病院の連絡先
- 子どもの送り迎えの方法など



### 非常持出品の例

- 飲料水
- 懐中電灯
- ラジオ
- 救急セット
- 軍手
- レジャーシート
- 使い捨てカイロ
- 非常食
- 石鹸
- 防犯ブザー又は笛
- お薬手帳
- 常備薬 (持病をお持ちの方)
- タオル
- ロープ
- ティッシュ
- ろうそく、ライター
- ゴミ袋



### ●避難する時のポイント

避難するときは、自分の避難先を近所の人にも伝えておくことが大切です。台風など事前に避難をする場合も同じく、遠方の家族のところへ行ってきますなど、近所の人に自分の避難先を伝えておくことで、近隣で見守っている人達も安心でき、もしもの時に安否確認がスムーズにできます。

# 西海市社協職員 被災地 福岡県へ

## 災害派遣

西海市社協は、被災地支援のため、8月3日～6日の4日間、福岡県久留米市災害ボランティアセンターに職員1名を派遣しました。今回は、職員による被災地支援の様子を報告します

### 被災地 久留米市へ

派遣先の福岡県久留米市は、7月10日午前9時半ごろ、同市田主丸町竹野地区で大規模な土砂崩れが発生、土砂が山肌を切り裂いて住宅地へ流れ込み、家屋をなぎ倒している映像を見たときに、自分も誰かの力になりたいと思い、8月3日の朝に久留米市へ出発しました。

### 現地での活動

8月3日の昼ごろに久留米市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターへ到着。説明や引継ぎを受け、2日目からは、まさに映像で見た竹野地区で、被災した家々を一軒一

軒訪問し、被災者からの依頼内容を聞き取る、ニーズ調査を行いました。

### 思いやる気持ち

被災者の方からの落胆の声と共に「家の泥を出してほしい」という依頼が多く聞かれましたが、ある被災者からは、「うちも大変けど、近所の高齢の一人暮らしの方の家も心配です、行ってあげてください」という自分以外の誰かを気遣う声が聞かれ、久留米市の方々の人を思いやる気持ちに心を打たれました。

### 復旧に向けて

私が支援に入った田主丸町という町は、果樹栽培(ぶどう、柿)と30年以上前から植木苗木産業が盛んで、日本全国で需要のある果樹苗木の約8割は、田主丸町から供給されています。

しかし、土砂災害の影響で農地へ土砂が流れ込み、被害がでていました。

一方、災害ボランティアは家屋や家財の復旧復興が中心であり、重機を使用する農地などには、NPOなどの専門的な経験や知識を

持つ方が作業をしてくれました。

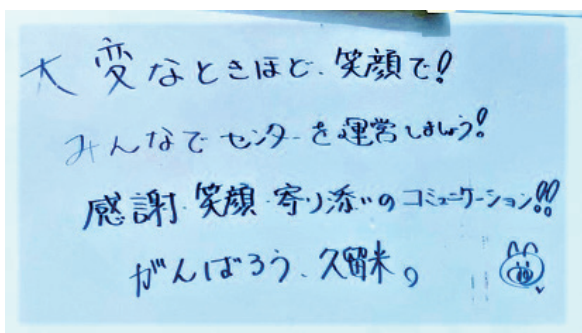
それぞれが自分の得意分野を活かして、汗を流す姿が見られ、復旧に向けて歩みが進んでいます。

### 助け合える地域づくり

西海市でも困ったときに、助け合える地域づくりと人づくりが大切です。

助け合える地域づくりは、1日にして成るものではなく、普段からの地域でのふれあいや助け合いの積み重ねが、大切だと考えさせられました。

(大島支所 森 雄二)



## 地域での助け合い



地域福祉連絡会 (横瀬東地区)

西海市社協では、近隣の住民同士がお互いに協力し、助け合うことができる地域づくりを目指して、各行政区に地域福祉連絡会を設置しています。

地域福祉連絡会は、地域の生活・福祉課題や困りごとだけでなく、災害時に見守る必要がある要配慮者の把握や避難時の役割分担、避難場所の確認等を行い、実際に災害が起こった場合に備えて、防災・減災への取り組みを行っている組織です。

いくつでも

好きな事を

生きがいに



9月15日 老人の日

9月の第3月曜日は「敬老の日」。長年にわたり社会を支えてきた方の長寿を祝う日です。

また、9月15日の「老人の日」から21日までの1週間を「老人週間」と定め、社会の礎を築いた高齢者に感謝の気持ちを表す催しが各地で行われます。

いつまでも

元気に過ごすために

いくつになっても住み慣れた地域で、自分の趣味や好きなことをしながら、誰かと支え合って生活を送ることが大切です。

今回は、市内で毎日を元気に過ごされているお年寄りの方々をご紹介します。



ご夫婦仲良くお風呂へ

大瀬戸町にお住まいの富田晃さん（95歳）とツヤ子さん（84歳）は、結婚して67年のおしどり夫婦です。夫の晃さんは、長年農業を営みながら生活を支え、妻のツヤ子さんも建設会社に勤めていました。5年前からほぼ毎日、大瀬戸社会福祉センターのお風呂に夫婦で通っています。晃さんは、「ここのお風呂に入ったら体がほぐれて気持ちよか」と話し、ツヤ子さんは、「夫婦の楽しみの一ツ」と話してくれました。



自作のベンチと一緒に

故郷から見える景色を残したい

今月で85歳を迎える田添繁さんは、40年以上大工として働き、現在は趣味のカラオケ、書道、物づくりを楽しんで生活しています。20年前に生まれ育った西海町中浦北郷石宗地区にある長尾城跡から見える景色に心を打たれ、そこから住民と一緒に生い茂った草や木を整備し、自作したイスやテーブルを置いて展望所を作りました。今後も、「趣味を楽しみながら住民と一緒に故郷の景色を残していくことが目標」と明るく話してくださいました。

広がる

助け合い

7月25日、崎戸町で4回目目の助け合いの集いが開催され、27人が集まりました。今回の集いでは、地域の問題の解決に向けて、具体的な方法を住民同士で協議しました。

参加者からは、「困りごとを皆で話し合って、助け合って解決していくことが必要」との声が聞かれました。

4月から毎月開催してきたこの集いはいったん終了。

今後は各行政区に設置している地域福祉連絡会に協議の場が引き継がれていきます。



参加者が話し合う様子

助け合いを  
川棚町へ



崎戸町の事例を紹介する職員

また8月4日には、川棚町助け合い有償ボランティア勉強会が開催され、長崎県からの依頼で崎戸町の生活支援有償ボランティア「あなたの地域のおたすけマン」について事例発表を行いました。当日は、崎戸町以外にも佐々町の事例や、川棚町の助け合いの状況なども発表され、助け合いについて関心を持つ川棚町の地元の方が、約50人集まりました。私自身も助け合いの広め方について、とても勉強になった1日でした。

（崎戸支所 岩永 新）

# 子どもたちの夏休み



夏休みに市内の学童保育で見られた、笑顔いっぱいの子どもの思い出をご紹介します。

## 夏の思い出 一生もの

### 大瀬戸小学校学童保育会どんぐりクラブ



かき氷に夢中



ヨーヨー釣りを楽しむ子どもたち

8月8日、大瀬戸小学校学童保育会どんぐりクラブでは、学童の先生方の発案で初めて夏祭りが開催されました。

参加した子どもたちは30人。出店はヨーヨー釣り、綿菓子屋さん、くじ引きやかき氷屋などがありました。

また、くじ引きでは「おっ！花火当たった」と喜んだり、出来立ての綿菓子を見て「デカイ」と驚いていました。子どもたちに話を聞くと「出店がたくさんあって楽しい」と話してくれました。

### 大串学童保育クラブ（西彼町）



演奏する音楽隊と子どもたち

8月18日、西彼町の大串学童保育クラブでは、市内のフォークローレグループなどを招き、南米音楽会を開催しました。

参加した子どもは40人。披露されたのは、「コンドルは飛んでいく」や、童謡の「ふるさと」なども演奏され、知っている曲と一緒に歌う場面も見られました。

子どもたちに感想を聞くと、「音楽に合わせてタンバリンを叩いたら楽しかった」や「色々な楽器があつて面白かった」と笑顔で話してくれました。

# 学資の備え大丈夫?



## 進学を応援します

授業料の費用を  
借りたい。

入学金や制服代  
が足りない。

### ◆生活福祉資金◆ 教育支援資金



高校や大学等への進学に必要な入学金や授業料などで困った時、必要な費用をお貸しすることで進学や就学の継続を支援し、世帯の自立を支援する「教育支援資金」があります。

#### 対象者

低所得世帯で資金の融通を他から受けることが困難な世帯

#### 教育支援資金の種類

- **教育支援費**：授業料や通学費、寮費など就学するために必要な費用
- **就学支度費**：入学金や制服の購入費など入学に際して必要な費用

資金の種類	貸付限度額		据置期間	償還期間	貸付利率
教育支援費	高等学校・高専	月額 <b>3.5万円</b> 以内	卒業若しくは退学した翌月から 6カ月以内	※ 据置期間 経過後、 10年～ 20年以内	無利率
	高専（専門課程）	月額 <b>6万円</b> 以内			
	専修学校				
	短期大学				
就学支度費	月額 <b>6.5万円</b> 以内				
	<b>50万円</b> 以内				

※貸付金額によって、償還期間の設定が異なります。

#### ご利用の条件

長崎県育英会や日本学生支援機構の奨学金、母子父子寡婦福祉資金等の貸付制度が優先です。また、原則として連帯保証人が必要です。

#### 注意点

既に支払い済みのものに対する貸付はできません。また、申込から貸付金交付まで約1カ月程度かかりますのでお早めにご相談下さい。

#### 有料広告

当店では納骨壇工事も承っております

大瀬戸町 真光寺様 納骨堂



## 池田仏具店

● 仏壇・仏具

● 寺院 ご内陣・納骨壇

西海市西海町七釜郷567-29

(0959) 33-2123

# ファミサポ物語り

## 両方会員への挑戦編



**提供・依頼会員 募集中！**  
★登録無料★

【連絡先及び問い合わせ先】

**ファミリー・サポート・センターさいかい**

(西海市立大島児童館内) 担当 麻生

〒857-2427 西海市大島町1766番地

電話・FAX：34-2139 携帯：080-2694-8670



## サマーボランティア 体験記

8月4日、県立大崎高等学校1年の田端千英さんが、大島子育て支援センターでボランティア活動をしました。

### 参加した理由

もともと、小さい子どもと一緒に遊んだり、お世話するのが好きでした。  
将来は助産師になりたいと思っているので、子どもとふれあえるボランティアをしたいと考え、体験に行くことを決めました。

### 活動してみても

最初は「一緒に遊んでくれるかなあ」、「泣かれたりするかなあ」と不安でしたが、自分から声をかけ子どもと一緒にドミノや遊具で遊びました。  
また、小さい子を抱っこさせてもらった時には、職員さんから優しく抱き方を教わりながら、抱っこできました。  
その時に子どものぬくもりを感じる事ができ、とても幸せな時間でした。

## ファミサポさいかいより 会員募集説明会のお知らせ

9・10月の日程	会場
9/9 (土)	大島離島開発センター
9/30 (土)	西彼保健福祉センター
10/7 (土)	社会福祉協議会崎戸支所
10/14 (土)	大瀬戸コミュニティセンター
10/28 (土)	西海総合福祉センター

時間：10：00～11：30

内容：援助活動の流れや注意点、

利用料金などについて

※11月以降も随時開催します

### 【連絡先及び問い合わせ先】

ファミリー・サポート・センターさいかい 担当 麻生

西海市立大島児童館 電話：34-2139

携帯：080-2694-8670




お困りではありませんか？  
**法律問題**  
**ご相談**ください  
 相談無料  
 要予約

借金や離婚、土地、遺産相続など法律上のことでお困りではありませんか。暮らしの困りごとを解決するため、弁護士がご相談に応じます。※状況によっては、リモートでの相談となります。

◆ 10月19日(木) 相談時間 13時～17時  
 場所：西海市社協大瀬戸支所  
 大瀬戸町瀬戸板浦郷 920 番地 12

予約先  
 西海市社会福祉協議会 **電話29-4081**



暮らしや仕事などで悩んでいませんか  
 相談無料  
 秘密厳守  
**一人で悩まず**  
**ご相談ください**

**生活のこと**

- ◆収入が不安定で生活費のやりくりで困っている
- ◆借金や滞納金が多くてどうしたらいいかわからない

**仕事のこと**

- ◆仕事をしたいがなかなか決まらない
- ◆仕事が長続きしない
- ◆失業した

**24時間テレビ募金に**  
**市民の善意続々**

24時間テレビ「愛は地球を救う」のチャリティー募金活動を今年もイベント会場など市内3カ所で募金活動を行いました。

中・高校生のボランティアが「募金にご協力をお願いします」と呼び掛けると、多くの市民が足を止めて募金にに応じてくれました。

お寄せいただいた募金は、全額24時間テレビチャリティー委員会に送金し、国内外の災害援助や福祉車両の贈呈などに役立てられます。



大瀬戸夏祭りでの募金の様子

**西海市生活支援相談室** 電話 29-4081  
 西海市社会福祉協議会内  
 西海市西海町黒口郷1477番地1  
 相談日：月曜日～金曜日（8時30分～17時30分）  
 Mail：chiiki@shakyo-saikai.jp

**福祉推進員が代わりました**

任期の途中ですが福祉推進員の交代がありましたのでお知らせいたします。

(敬称略)

町	行政区	旧福祉推進員	⇒	新福祉推進員
崎戸町	東山町	白石 節子	⇒	宮崎 満廣

**ご寄付・お礼**

○7/16～8/15受付分  
 社会福祉事業資金として次の方々から心温まる善意の寄付をいただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。

皆さまのご厚情に心から感謝申し上げます。

なお、本会への寄付金は税額控除の対象となります。

▽**忌明け寄付**

西海町  
 ◆田崎雪子様(故 竹一様)

大島町  
 ◆中村孝二様(故 聡志様)

崎戸町  
 ◆野田壽恵子様  
 (故 勇一郎様)

大瀬戸町  
 ◆山本洋治様(故 涼子様)  
 ◆中田直幸様(故 エノ様)

市外  
 ◆匿名希望

◆**編集後記**

今月号では、夏を楽しむ市内の学童の子どもたちと、毎日を元気に過ごされているお年寄りの方取材し、パワーを貰いました。

私の夏休みといえば、友達と川に泳ぎに行ったり、日が暮れるまで公園で野球をしたりとの連続。夏休み最終日に宿題を後回しにして、遊んで家に帰ると、仁王立ちした母の姿が。こっぴどく叱られた時のことを思い出します。(J)